

自衛隊がやってくる

～与那国、石垣、宮古、奄美大島～

沖縄島の辺野古・高江はある程度知られてきました。しかし琉球諸島の軍事化の問題はほとんど知られていません。日本の最西端にある与那国島に陸上自衛隊のレーダー基地ができ、石垣島、宮古島、奄美大島に陸自の警備隊と対艦ミサイル、対空ミサイル部隊が配備されようとしています。これは2010年の防衛計画大綱に示されてきました。

1996年に始まった新基地建設の動きの中で、この21年間の「日本」は次々と戦争法を法制化し、米国の戦争を支える体制を整えてきました。自衛隊は「軍隊」として強化され、「対テロ訓練」から「島しょ奪還作戦」まで米日共同作戦を担える部隊に仕上がってきました。

この計画（「南西方面重視政策」）を具体的に提示します。東京から与那国まで、遠いようでも近い。知らなかったではすまされません。

琉球諸島は小さな島の集まりです。だからこそ、ここに目を向ける意味があるのです。島からシマへ。自治と連帯のネットワークへ。

沖縄の問題は「日本」の問題、アジアの問題です。総選挙前ですが、皆様の参加をお待ちしています。

日時：10月19日（木）午後6時半～（6時から受付）9時

場所：新宿区大久保地域センター 会議室A（新宿区大久保2-12-7）

講演：「軍事化される琉球諸島—沖縄の問題は「日本」の問題、アジアの問題

講師：山本英夫（フォトグラファー）

資料代：800円

プロフィール：1951年東京生まれ世田谷育ち。フォトグラファー（自然写真・報道写真）自然保護・反戦・反差別に取り組みながら、89年に沖縄に通い始め、2011年から与那国島・石垣島・宮古島に通い続けている。2013年、名護市に居を移す。現在、辺野古テント村を基点にしながら撮影を続けている。2017年8月写真展「琉球諸島に忍び寄る黒い闇」を沖縄市で開催。

ブログ「ヤマヒデの沖縄だより」更新中

沖縄を学び考える会 連絡先 090-2215-8540
(長谷川) rie@sepia.ocn.ne.jp

